

(様式4)

公共事業再評価調書

番 号	道路-1	事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路横浜藤沢線（上永谷地区 外1）		採択年度	平成元年度	
施工場所	港南区丸山台四丁目～戸塚区舞岡町		経過年数	34年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>都市計画道路横浜藤沢線は港南区丸山台を起点とし、戸塚区小雀町を連絡する延長約7,300mの幹線道路です。本路線は、本市の幹線道路網の骨格となる3環状10放射道路の一つに位置づけられており、本地区の整備により、環状2号線と桂町戸塚遠藤線が接続し、道路ネットワークが形成され、周辺地域の渋滞解消及び交通利便性の向上を図ります。</p> <p>また、本路線は、物流上重要な道路輸送網として、令和4年4月に重要物流道路に指定されています。本路線の整備により、重要物流道路のネットワークが構築され、拠点間アクセス性が向上することで、平常時・災害時を問わない安定的な輸送が確保されるとともに、企業誘致等、地域経済の活性化も期待されます。</p> <p>なお、本事業は直近の再評価を平成25年度に実施しています。</p> <p>概要 計画延長1,910m（上永谷地区：920m、上永谷舞岡地区：990m） 幅員32～48m、[標準幅員32m]、用地面積99,515m<sup>2</sup></p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成25年度)	変更(令和4年度)
	事業期間		平成1年度～平成24年度	平成1年度～平成30年度	平成1年度～令和7年度 (延伸予定) 令和12年度完了見込み
	事業費	合計	17,350百万円	20,102百万円	20,700百万円
		国費	8,675百万円	10,051百万円	10,350百万円
		市費	8,675百万円	10,051百万円	10,350百万円
変更内容	<p>事業費の確保ができなかったため、事業が予定通り進捗せず、事業期間を延伸しています。また、官民境界の高低差処理および地盤条件による擁壁構造の採用、基礎構造の変更等が生じたため、事業費が増加しました。</p>				
上位計画等	<p>本市の「中期計画」において、「政策36 交通ネットワークの充実」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。</p> <p>また、「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。</p> <p>今年度には、重要物流道路にも指定されており、安定的な輸送能力を確保する重要な路線です。</p>				
関連事業	<p>当該地域では、横浜藤沢線に並行して上永谷線（自転車歩行者専用道路）も事業を進めており、道路ネットワークのほか歩行者・自転車ネットワークも形成されます。</p>				
事業の 必要性	<p>横浜藤沢線は、市内の「内陸南部工業地域」と、横浜港等の物流拠点とを結ぶネットワークを構築されます。このうち、「内陸南部工業地域」には大型物流倉庫の開業により、物流の交通需要が高まっています。</p> <p>さらに、本市南部地域では、高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備が進められており、周辺地域の交通需要の増加が見込まれています。</p>				

事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
	割引率	4%	
	総便益(B)	988 億円	
	総費用(C)	343 億円	
	費用便益比 (B/C)	2.9	
	感度分析 [交通量-10%]	2.3	
[定性的な効果] [その他特記事項]			

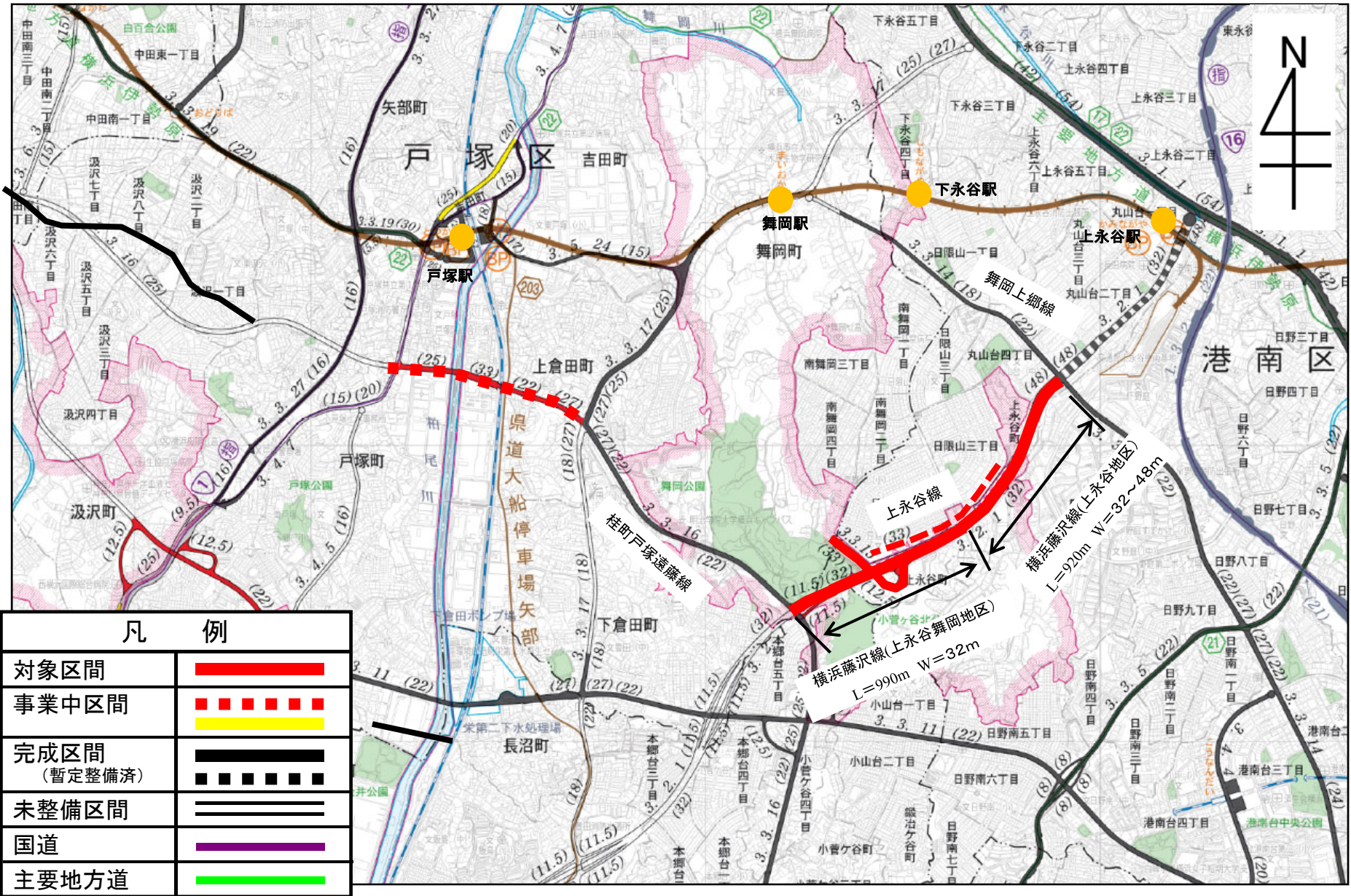
事業の 進捗 状況	事業進捗率%	令和3年度末までの用地取得進捗率は99%、事業進捗率は68%となっています。令和4年度は引き続き用地取得に向けた検討および関係機関協議を進めながら設計を行います。
	68%	
	用地取得率%	
	99%	
	供用等の状況	
	—	
事業の課題 及び進捗 見込み	令和4年4月より重要物流道路へ指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置付けられたことから、今後は事業進捗を見込んでいます。引き続き用地取得と並行して施工可能な部分の工事を進め、令和12年度の完成に向け進めていきます。	
その他 (コスト削減項目等)	建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装、構造物についても、設計段階から可能な限りコスト削減に努めます。更に、隣接する上永谷線と工事進捗を合わせることで、仮設材の減量化など間接費を含め、コスト削減を図ります。	
その他	—	
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
対応方針	継続 <input checked="" type="checkbox"/>	計画通り(上記計画を実施) ※1
		一部見直し(上記計画を変更) ※2
		【見直し内容】
中止 <input type="checkbox"/>		

対応方針 とした理由	<p>本路線は、本市の幹線道路網の骨格をなす3環状10放射道路に位置付けられていることや、本路線と接続する高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備が進められており、本市道路網の形成に果たす役割は大きく、早期に事業完了を図る必要があります。</p> <p>更に、重要物流道路に指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置付けられたことから、本路線の重要性が高まっています。</p> <p>用地取得もほぼ完了(99%)しており、一部、工事着手をしていることから、事業を継続実施する必要があると判断します。</p>
---------------	---

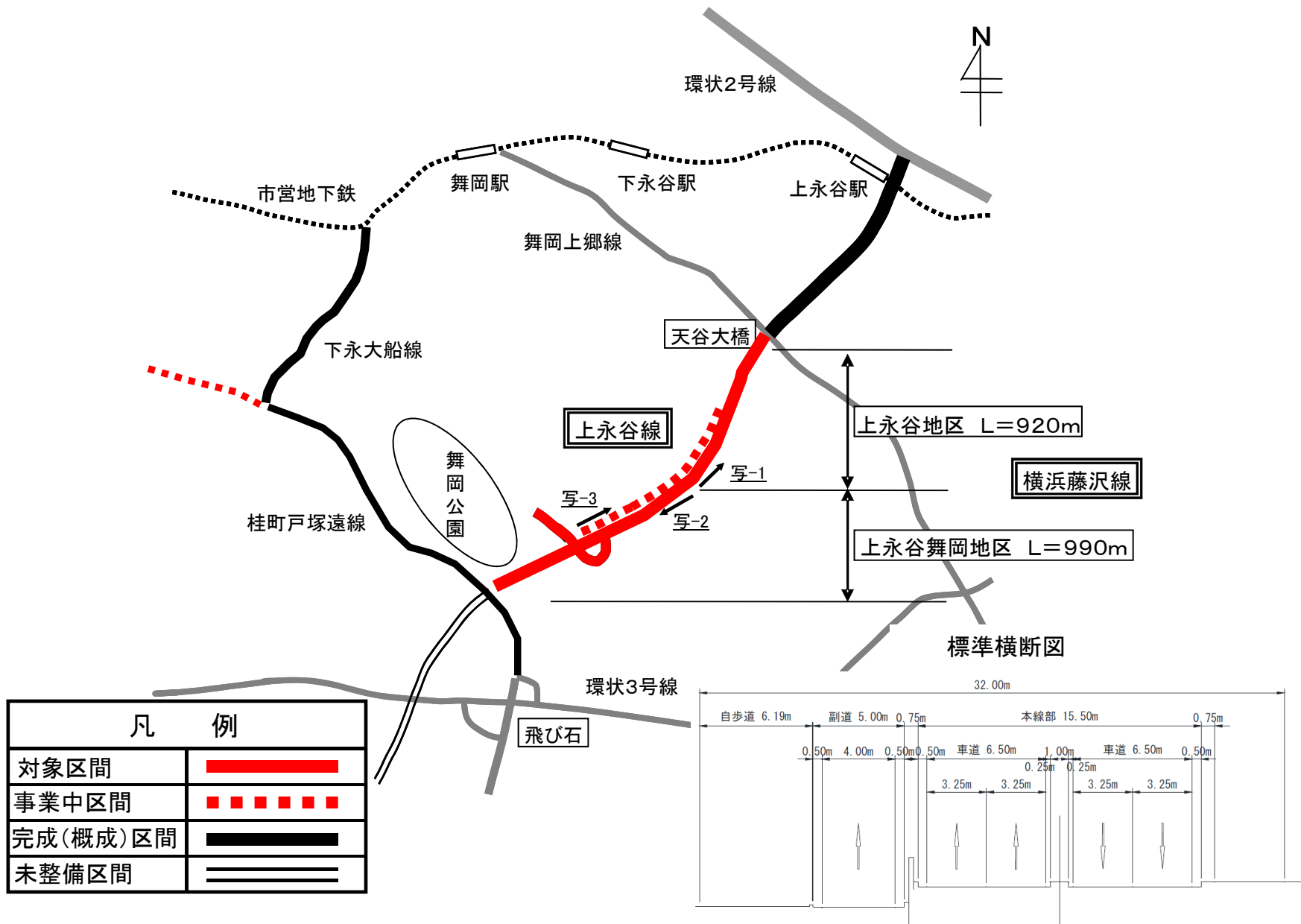
※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

# 都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1)



# 都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1)



凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ①



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ②





都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ③



事業進捗状況

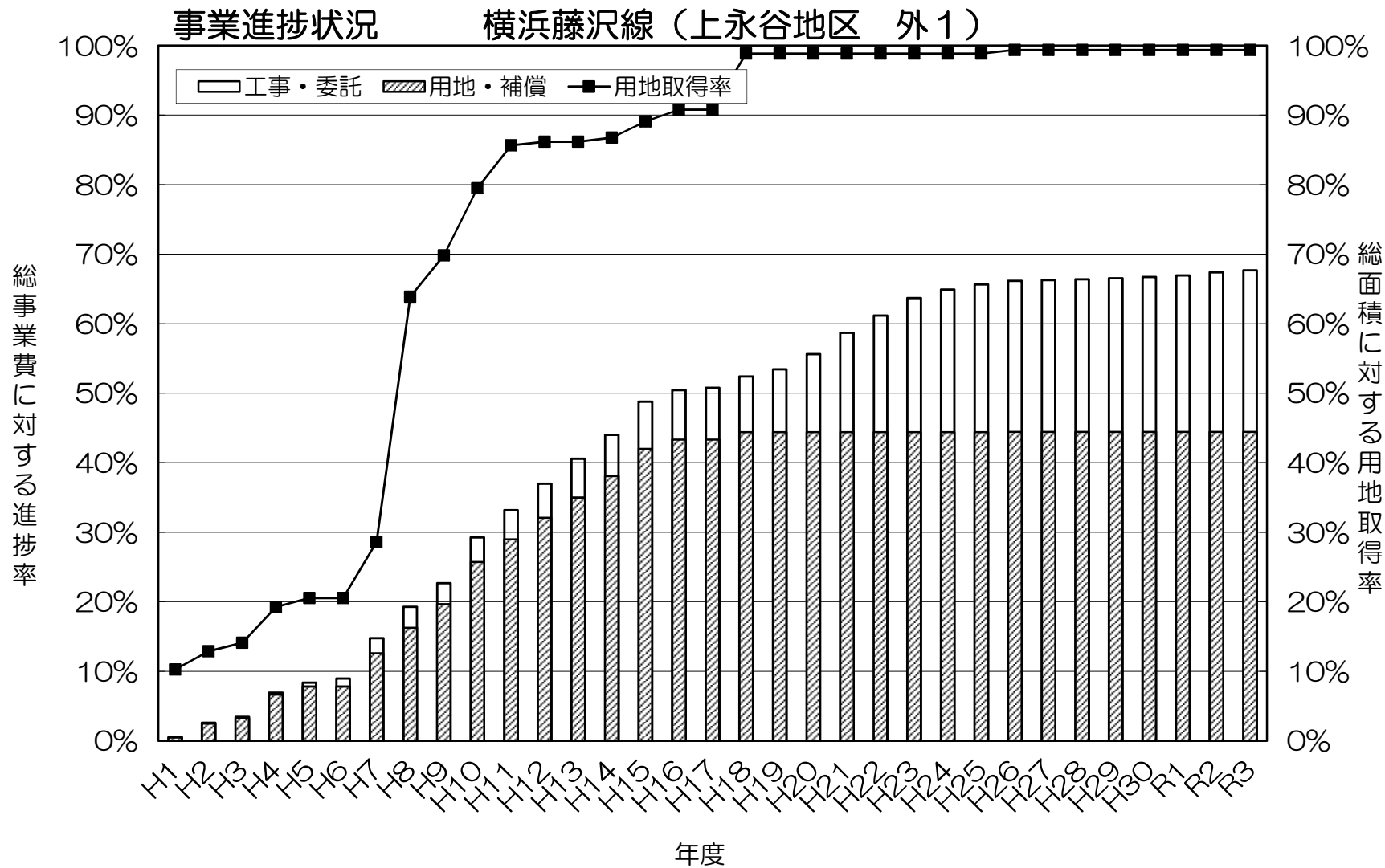
横浜藤沢線（上永谷地区 外1）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			累計事業費 合計	事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託		合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H1	106	98	8	106	0.5%	0.5%	0.0%	10,400	10,400	10.3%
H2	435	411	24	541	2.6%	2.5%	0.2%	2,638	13,038	12.9%
H3	171	165	6	712	3.4%	3.3%	0.2%	1,266	14,304	14.1%
H4	720	705	15	1,432	6.9%	6.7%	0.3%	5,184	19,488	19.2%
H5	297	237	60	1,729	8.4%	7.8%	0.5%	1,329	20,817	20.5%
H6	127	0	127	1,856	9.0%	7.8%	1.2%	0	20,817	20.5%
H7	1,203	993	210	3,059	14.8%	12.6%	2.2%	8,150	28,967	28.6%
H8	928	759	169	3,987	19.3%	16.3%	3.0%	35,755	64,722	63.9%
H9	710	700	10	4,697	22.7%	19.7%	3.0%	6,046	70,768	69.8%
H10	1,360	1,256	104	6,057	29.3%	25.7%	3.5%	9,785	80,553	79.5%
H11	812	677	135	6,869	33.2%	29.0%	4.2%	6,253	86,806	85.6%
H12	785	643	142	7,654	37.0%	32.1%	4.9%	541	87,347	86.2%
H13	741	598	143	8,395	40.6%	35.0%	5.6%	0	87,347	86.2%
H14	717	642	75	9,112	44.0%	38.1%	5.9%	573	87,920	86.7%
H15	983	808	175	10,095	48.8%	42.0%	6.8%	2,374	90,294	89.1%
H16	349	278	71	10,444	50.5%	43.3%	7.1%	1,725	92,019	90.8%
H17	67	0	67	10,511	50.8%	43.3%	7.4%	0	92,019	90.8%
H18	339	222	117	10,850	52.4%	44.4%	8.0%	8,189	100,208	98.9%
H19	216	0	216	11,066	53.5%	44.4%	9.1%	0	100,208	98.9%
H20	451	0	451	11,517	55.6%	44.4%	11.2%	0	100,208	98.9%
H21	631	0	631	12,148	58.7%	44.4%	14.3%	0	100,208	98.9%
H22	517	0	517	12,665	61.2%	44.4%	16.8%	0	100,208	98.9%
H23	514	0	514	13,179	63.7%	44.4%	19.3%	0	100,208	98.9%
H24	257	0	257	13,436	64.9%	44.4%	20.5%	0	100,208	98.9%
H25	153	0	153	13,589	65.6%	44.4%	21.2%	0	100,208	98.9%
H26	108	7	101	13,697	66.2%	44.4%	21.7%	521	100,729	99.4%
H27	24	0	24	13,721	66.3%	44.4%	21.8%	0	100,729	99.4%
H28	23	0	23	13,744	66.4%	44.4%	22.0%	0	100,729	99.4%
H29	26	0	26	13,770	66.5%	44.4%	22.1%	0	100,729	99.4%
H30	38	0	38	13,808	66.7%	44.4%	22.3%	0	100,729	99.4%
R1	46	0	46	13,854	66.9%	44.4%	22.5%	0	100,729	99.4%
R2	93	0	93	13,947	67.4%	44.4%	22.9%	0	100,729	99.4%
R3	65	0	65	14,012	67.7%	44.4%	23.3%	0	100,729	99.4%
合計	14,012	9,199	4,813					100,729		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和  
 ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合  
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合





前回再評価内容との比較

都市計画道路横浜藤沢線整備事業（上永谷地区 外1）

	前回（H25）	今回（R4）	9年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>隣接する桂町戸塚遠藤線が供用開始し、環状2号線や舞岡上郷線などの幹線道路と連絡し、本市南部地域の交通の円滑化を図る上でも、本路線の重要性が高まっています。</p> <p>H20に取りまとめた「都市計画道路網の見直しの素案」に基づき、上永谷戸塚線の一部区間が廃止となった。</p>	<p>横浜藤沢線は、市内の「内陸南部工業地域」と、横浜港等の物流拠点とを結ぶネットワークを構築しています。このうち、「内陸南部工業地域」には大型物流倉庫の開業により、物流の交通需要が高まっています。</p> <p>さらに、本市南部地域では、高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備が進められており、本路線の重要性が高まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年3月に内陸南部工業地域にて大型物流倉庫が開業</li> <li>令和4年4月の重要物流道路に指定</li> </ul>
事業進捗率	67%	68%	+1%
用地取得率	98.9%	99.4%	+0.5%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	<p>本路線と交差する生活道路の橋梁化工事が今年度完成する見込みであることから、今後は順次工事を実施し、平成30年度に供用開始する予定です。</p>	<p>令和4年4月より重要物流道路へ指定され、国として物流の観点から重要な道路に位置付けられたことから、今後は事業進捗を見込んでいます。引き続き用地取得と並行して施工可能な部分の工事を進め、令和12年度の完成に向け進めていきます。</p>	<p>平成26年に橋梁工事が完了しました。 平成26年に用地取得を行いました。</p>